



最近の国際的な取組

令和4年10月4日
内閣府男女共同参画局

G20女性活躍担当大臣会合における議論について



小倉大臣による大臣声明①



小倉大臣による大臣声明②

○ 2022年8月24日(水)、25日(木)、G20では2回目となるジェンダーに関する閣僚級の会合「G20女性活躍担当大臣会合」がインドネシアで開催され、2日にわたり3つのテーマで女性活躍が議論された。(第1テーマ「コロナ後のケアエコノミー」、第2テーマ「デジタルにおけるジェンダーギャップ解消」、第3テーマ「女性の起業」)

○ 日本からは、小倉将信女性活躍担当大臣・内閣府特命担当大臣(男女共同参画)が第2テーマ別セッションにオンラインにて出席。冒頭で、ロシアのウクライナ侵略について、最大限強い言葉で非難し、侵略を止めるよう強く求めた上で、セッションテーマ「デジタルにおけるジェンダーギャップ解消」に基づき、女性のデジタル分野における就労の現状や、「女性デジタル人材育成プラン」、女子学生・児童へのSTEM分野の進路選択支援など具体的な取組を発信。女性の就労機会、また地域における雇用創出の観点でも好事例である、塩尻市の取組なども紹介。

○ 会合終了後に公表された議長声明においても、新型コロナウイルス感染拡大による女性の無償ケア負担を解消するための各国政府による強靱かつ包括的なケアサービスシステムの提供や、デジタル経済におけるリーダーシップを含む、STEM産業での雇用へのアクセスを女性が平等に享受できる環境づくり、女性の起業支援に向け各国政府が関連データの収集と活用を促進し、ジェンダーに対応した予算編成を行うことの重要性などが指摘された。

APEC 「女性と経済フォーラム」における議論について



会場での記念撮影の様子



大臣発言の様子

- 2022年9月7日(水)、APEC域内の男女共同参画担当大臣が一堂に会する「女性と経済フォーラム2022」がタイ(バンコク)とオンラインのハイブリッド形式で開催。
- 本年のフォーラムでは、タイの提案の下、「女性の経済的自立の確立(Ensuring Women's Economic Empowerment)」をテーマに議論。
- 日本からは、小倉将信女性活躍担当大臣・内閣府特命担当大臣(男女共同参画)がタイ(バンコク)にて出席。冒頭で、ロシアのウクライナ侵略について、最大限強い言葉で非難し、侵略を止めるよう強く求めた上で、「女性デジタル人材育成プラン」に基づき、デジタルスキル向上とデジタル分野への就業支援に取り組むとともに、教育段階からの取組として、女子学生・女子児童のSTEM分野への進路選択に関する理解促進等に取り組んでいくことを発信。
- 会合においてはタイの「女性と経済フォーラム議長声明」を発出。同声明では、ケアワークが女性に偏っていることや、ケアサービスへのアクセスの欠如、男女間の不平等な職業分離、STEM分野への女性の参加不足等を課題として取り上げた。声明ではその解決策として、働き方の柔軟性や、APECのフォーラムで男女別データを収集等、あらゆる形態のジェンダー平等と女性の経済的自立の実現に向けて、女性に対するあらゆる偏見に取り組むための総体的かつ多角的アプローチで、政府および民間部門の長期的かつ総力的な取組の必要性を訴えた。
- また、本会合に関連して、豪・加・日・韓・NZ・米の6か国は、ロシアのウクライナ侵略やロシア軍による女性や女児に対する暴行を強く非難する共同プレスリリースを発出した。

1. 開催趣旨

G7におけるジェンダー主流化の流れをより強固なものとするとともに、我が国の男女共同参画・女性活躍施策の国際社会への発信及び取組の一層の進展の契機とする。

2. 会合の正式名称

G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合

3. 開催地

栃木県日光市

(参考) G7における男女共同参画大臣会合について

- ・2017年のイタリア議長国時に初めて開催して以降、継続的に開催（途中コロナ禍による中断あり）。日本における開催は今回が初めて。
- ・2022年会合はドイツ（ベルリン）にて10月13日（木）・14日（金）に開催予定。



2017年伊会合の様子（ワーキングセッション）



2019年仏会合の様子（共同記者会見）

(参考) 栃木県日光市について

栃木県及び日光市の位置



栃木県日光市の写真



いろは坂



華厳の滝



中禅寺湖



東照宮（陽明門）